中部日本
戰時版

發行所
中部日本新聞社
名古屋市中區西川端町一ノ五
別館
名桑區御寺本町通二ノ二四
一ケ月七十錢（一部）三錢
發行人 松村解治
編輯人 龜山巌
印刷人 加藤登一

カロリン諸島に敵有力機動部隊

捕捉猛攻四日間

空母戰巡六隻を撃沈破

パラオ諸島にも來襲 八十機を撃墜

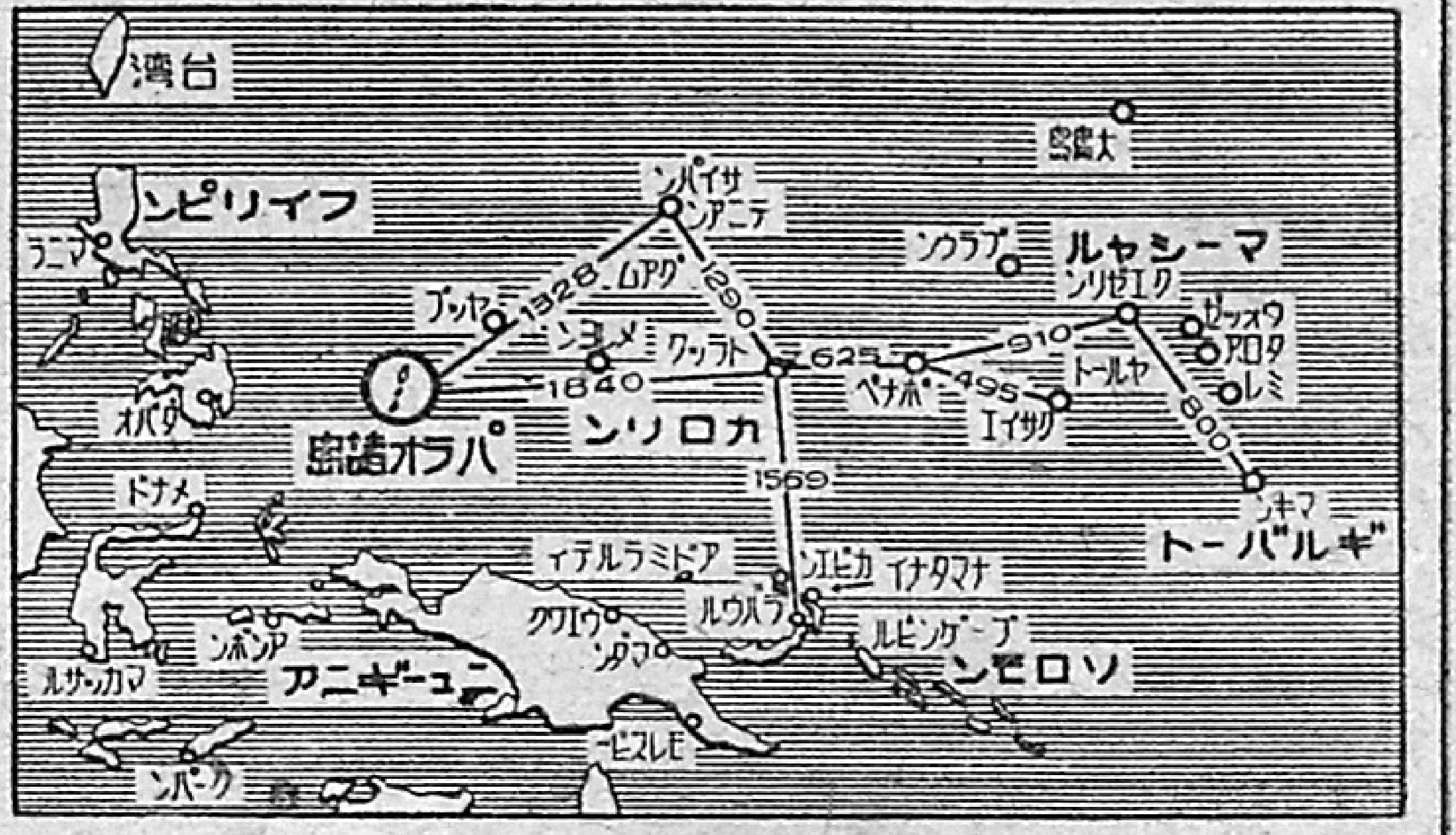
大本營發表（四月四日十五時）一、三月二十九日有力なる敵機動部隊カロリン諸島南方海面に出現、同方面の我が航空部隊は之を捕捉、三月二十九日夜より四月一日に亘り反復攻撃を加へ巡洋艦二隻を撃沈、戰艦二隻、航空母艦一隻、大型艦一隻、其の他を大破若くは炎上せしめたるも、敵亦三月三十日より四月一日に亘りパラオ諸島ヤツプ島並にメレヨン島を空襲せり、所在我が部隊はこれを邀撃しその約八十機以上を撃墜せるも我が方若干の損害あり

二、敵はその間基地航空部隊を以てマーシャル諸島、東カロリン諸島、ビスマルク諸島並にニューギニア島方面を特に頻繁に空襲せるも所在我が部隊は直ちに反撃を加へ敵機約六十機を撃墜破しこれを撃退せり

全南方に空襲頻り 六十機を屠る

空母、戰艦十數隻 太平洋正面から敵挑戰

本格的対日総攻撃を叫ぶ敵アメリカは昨年末のギルバート諸島侵攻以來わが太平洋正面の戰略要線たる内南洋諸島にその鋒先を伸ばした、本年一月卅日最前線マーシャル諸島に有力機動部隊を以て來襲、ついで二月十七、八兩日に亘るトラック諸島への大規模空襲に續き二月二十三日サイパン、テニヤン、グアム島等マリアナ諸島方面にまで攻撃し來り、航空母艦以下五隻撃沈破の大損害を受け一度は逃げ去つたが、更に三月二十九日航空母艦、戰艦など十數隻を基幹とする有力なる機動部隊を以てカロリン諸島南方海面に出撃、同方面のわが航空部隊はこれを捕捉攻撃、敵もまたカロリン諸島、パラオ諸島 ヤツプ島並に メレヨン島などに対し攻撃を加へ來つた、即ち三月二十九日「有力なる敵機動部隊カロリン諸島南方海面に出現」の報來るや わが航空部隊は 直ちにこれを捕捉、二十九日の夜間攻撃では敵航空母艦一隻を大破炎上、更に敵戰艦部隊の先頭艦たる戰艦一隻に必殺の魚雷攻撃により大傾斜大破炎上の大損害を與へ、三十日には敵巡洋艦二隻を撃沈、戰艦一隻大破炎上、艦型未詳の大型艦一隻をも大破炎上その他にも損害を與へた、この間敵も三月三十日より四月一日に亘る三日間わがパラオ諸島ヤツプ島並びにメレヨン島を空襲、わが部隊はこれを邀撃、三十、三十一兩日パラオ島方面で十三機、三十一日パラオ諸島中のペリリユ島で六十機、四月一日メレヨン島で八機、合計八十機以上を撃墜した、この敵機のカロリン諸島各島空襲に対し、わが方は 若干の損害を出したのみ よく敵の空襲企圖 を粉碎し去つ たのである、更に敵はカロリン諸島方面攻撃に呼應してヤルート、ウオツゼ、マロエラツプ環礁などマーシャル諸島方面、ポナペ、トラックなど東カロリン諸島方面およびラバウルを中心とするビスマルク群島方面、ウエワクを中心とするニューギニア島北岸方面に基地航空部隊の有力兵力を以て特に頻繁に來襲し來つたがわが部隊は來襲敵機中四十二機を地上砲火その他により撃墜、十四機以上を撃破、計六十機を撃墜破し他を撃退した、かくて戰局はいよ〳〵重大化一億眞に時宗となつて敵撃碎に邁進せねばならぬ

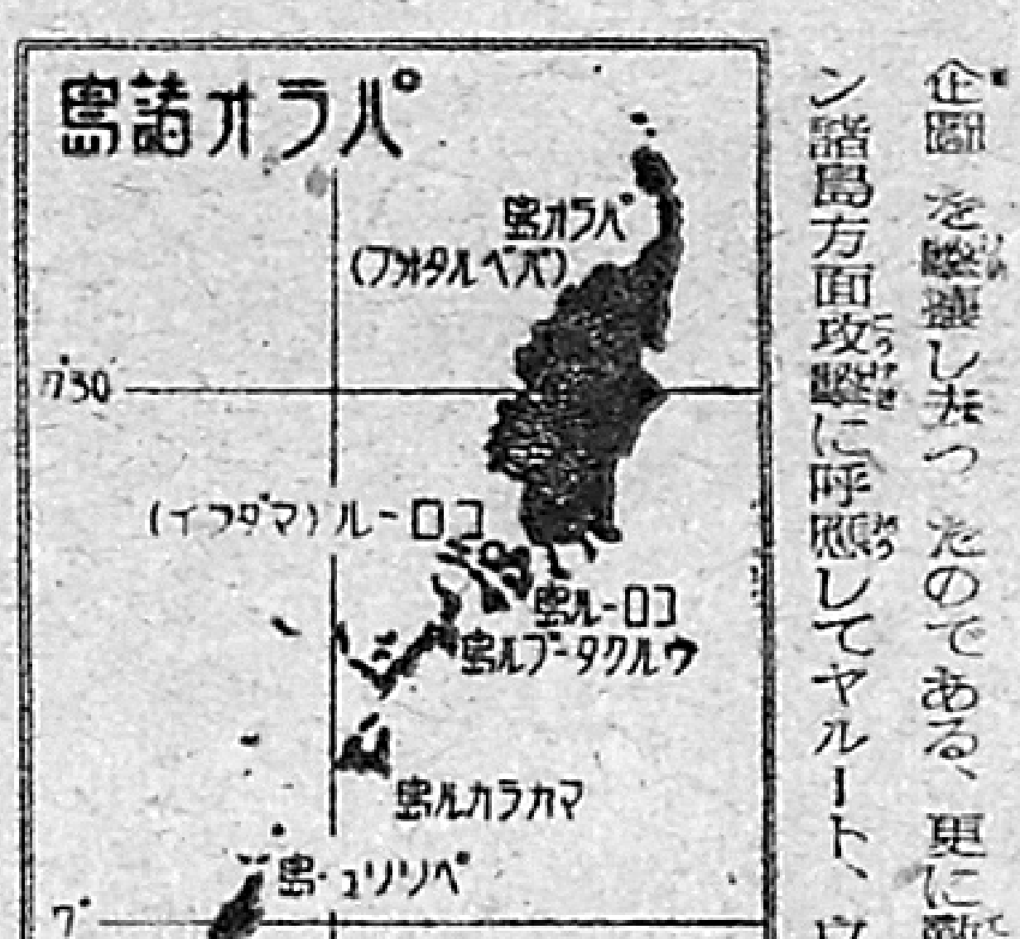


トラックへ四連襲

トラック【中部太平洋〇〇基地四日發特電】トラック島に対する來襲は依然執拗に續けられ去る三十一日夜には大型機十數機が一日夕刻にはB24十數機が來襲したが、空中戰で四機を撃破、また二日にはB24二十六機來襲、空中戰で八機を撃墜、三機を撃破したがわが方も未歸還一機を出した さらに二日夜には敵大型爆撃機十數機が來襲、わが部隊は空中戰によつて三機を撃破、他を撃退した わが方損害なし

ラバウル【ラバウル四日發特電】二日午前、午後數回に亘つてラバウルに戰爆延二百機が來襲、わが部隊はこれに相當の打撃を與へて撃退した、わが方地上の損害は輕微

クーパン【南西太平洋〇〇基地四日發特電】三十一日深更チモール島クーパンに敵双發中型機延十八機が來襲、わが部隊は一機を撃墜、他を撃退した、わが方損害なし



内南洋全域に出撃

油斷できぬ敵機動速度

今回の敵有力機動部隊のカロリン諸島南方海面出現は去る一月二十二日敵機動部隊のマリアナ諸島東方海面出現以來約五週間を經過して、さらに有力兵力を擁してわが内南洋深く攻撃企圖を指向し來つたもので敵の並々ならぬ野望の表現としていさゝかの輕視をも許さないのである、今回敵機動部隊が攻撃目標としたわがパラオ諸島のヤツプ島、メレヨン島はわが内南洋戰略要線中トラック諸島より西方に点々と連續する位置にあり特にパラオ諸島はトラック島を距る西方一〇六九浬、グアム島の西南方七一三浬の地点にあり、さきのマーシャル諸島、マリアナ諸島、トラック諸島に対する敵の來襲に續き敵アメリカがたとへ

海上機動力の大なる有力機動部隊をもつて攻撃し來つたとはいへ、敵の攻撃がすでに内南洋の殆ど全域に及んでゐることは厳に注目すべきである、

また今回の敵有力機動部隊のカロリン諸島南方海面出現に呼應し敵はマーシャル諸島、東カロリン諸島、ビスマルク群島並にニューギニア島方面の要地を特に頻繁に空襲し來つてゐることは明かにニミツツ、ハルゼー兩麾下兵力が一連の關聯性を有して、わが方に攻勢をとつてをると思考出來得るのである、さらに來襲敵機動部隊の兵力について見るに先づマリアナ諸島東方海面出現當時と同樣航空母艦、戰艦など十数隻を基幹とし、これに巡洋艦、驅逐艦などの快速艦多数を配してゐる有力機動部隊であり、しかもパラオ諸島、ヤツプ島、メレヨン島などに來襲の敵機は數百機の多きに及んでをり

その大兵力をもつてしても敵攻撃意圖が如何に熾烈なるものであるかゞ窺はれるのである、更に敵は航空兵力を主体とした海洋機動作戰を実施してゐるのであるから、從來の海戰の速度より更に飛躍的な高速をもつて戰局は發展するものと考へなければならない、近代戰は正に速度の戰爭であり、かくして生產戰線における速度の勝利こそ決定的勝利への唯一の道であることを銘記すべきである

南洋領の中核

（カロリン、パラオ）

カロリン諸島はわが内南洋西部にあたり西カロリンと呼ばれる一劃は南洋廳ヤツプ支廳に屬し四百二十年前ポルトガル人が發見、スペイン、ドイツ領と轉じわが領土となつた、群島はパラオ諸島も加へて總面積二百七十万平方キロであるが陸地は千八百平方キロにすぎない、大体火山岩玄武岩で割に大島が多いのも特徴だ、パラオ諸島はカロリン諸島の西部を占めパラオ支廳をなし、パラオ主島を中心に七つの島と二十余の珊瑚礁があつて陸地面積は四百五十平方キロ、マーシャル諸島の總面積よりうんと大きい、以上の島々はわが南洋領の中核といふことができ、敵の猛襲に一撃を加へたことも、それだけの鐵壁陣をなしてゐることを證明するものであらう

畏き聖旨を奉體 決死増産を誓ふ

尾形侍從武官四工場を視察

畏くも 天皇陛下には航空兵器の生產に大御心を寄せさせ給ひ一日には日本輕金屬〇〇工場へ、二日午前には日本樂器〇〇工場へ尾形侍從武官を御差遣あらせられたが

大日本兵器〇〇製作所 更に二日午後尾形侍從武官は引續き大日本兵器〇〇製作所を視察、稻田所長から増產状況を聽取し、工員やモンペ姿の女子挺身隊の作業ぶりを視察、〇〇に向つたが、日比野社長は全工員を集め「聖旨の万分の一にも報へ奉らんことを期せよ」と全員の総突撃を號令し職場に殉ぜん増產戰意を昂揚した

愛知航空機〇〇工場 三日午前九時尾形侍從武官は軍需省派遣の大曲大佐等の隨員を從へ愛知航空機〇〇工場に到着、青木社長以下の出迎へを受け同十分高井副所長の申告を聽取、ついで工場に入り再起の傷痍勇士をはじめ一般工員の敢鬪ぶりを具さに視察、同十一時には〇〇寮の施設を實視し關係者一同と懇談ののち午後一時神戸製鋼に向つたが、光榮に感泣する愛知航空機では午後三時青木社長自ら擴聲機を通じて感激を傳へ全員決死奉公の決意を誓つた

神戸製鋼〇〇工場 かくて尾形侍從武官には午後一時半神戸製鋼〇〇工場に到着、田宮社長以下の出迎へを受け伊丹所長の申告を聽取、同二時から工場内を視察、男子從業員に混つて敢鬪する白鉢巻姿も凛々しい女子挺身隊の活動にも目を止め更に各寮を實視の後懇談會に出席、同五時工場發、宿舍に入つたが、午後五時半田宮社長は全員を場内廣場に集め「聖慮に報い奉る必死の増產は今だ」と一層の奮起を促した

近江航空工業 更に尾形侍從武官は四日午後零時三十分近江航空工業會社營業所に到着、夏川社長より生產状況を聽取、同社長の先導で約一時間半に亘り女子工員の作業及び体操、寄宿舍を視察、更に近江高等女學校と技術者の養成にあたる近江實修高等工業學校を視察、三時十五分同會社〇〇工場着一時間に亘り全工場を視察、懇談會に出席のうへ同四時三十分視察を終へた

大日本兵器 日比野社長謹話 畏くも昨年五月當社〇〇工場に対し、今回また〇〇工場に侍從武官の御差遣を賜り眞に感激に堪へません、重要國防生產に携はる我々の責務と光榮は洵に絶大であります、今後とも一層敢鬪、斃れてなほやまざるの誓ひを固くした次第であります

愛知航空機 青木社長談 昨年五月に引續き本日再び當社〇〇工場に侍從武官の御差遣を賜り當社の光榮これに過ぐるものはありません、畏き大御心を奉体し擧社火の玉となり益々増產に邁進、以て聖慮に應へ奉ることを誓ふ次第であります

神戸製鋼 田宮社長謹話 畏くも尾形侍從武官の御差遣を賜り愈々有難い思召を奉体して増產に獻身御奉公を御誓ひ申上げる次第であります

近江航空 夏川社長謹話 今回侍從武官御差遣の光榮に浴し恐懼感激に堪へないところであります、創業より僅か〇年〇ケ月の今日、もとより施設內容未だ完備の域に達してはゐませんが、高速度の生產に一意邁進、愈々決戰帝國の決意の下に生產に挺身、聖旨に副ひ奉らんとする覺悟であります

インパール平地の總攻撃刻々と迫る

緬印國境に快調の進撃を續けつつある皇軍精鋭はインド國民軍の緊密な協力と相俟つて今やインド領內深く巨歩を進めインパールに向つて怒濤の如く殺到、インパール平地の制壓は時間の問題となつた敵の陣地モレ要塞は三月三十一日脆くも潰え去り、敵主力の半數以上は西方へと潰走、タム、インパール道路上にはこの敗走敵部隊と援軍二十三師の殘存部隊がわが包圍殲滅環内に捕捉されて殲滅の時は刻々に迫りつゝある、一方チンドウイン河を渡河パトカイ山脈の峻嶮を突破、コヒマ道の奇襲遮斷に成功した南下諸部隊はコヒマ、インパール街道を決河の勢ひで進撃中である、かくてわが精鋭の三方面からする破竹の追進作戰は日一日と高潮し東インド最大の敵據點インパール平地突入寸前の態勢にあるといふべくインパール攻略の戰ひはこゝ數日を出でずして世界注視の中に展開されんとしてゐる

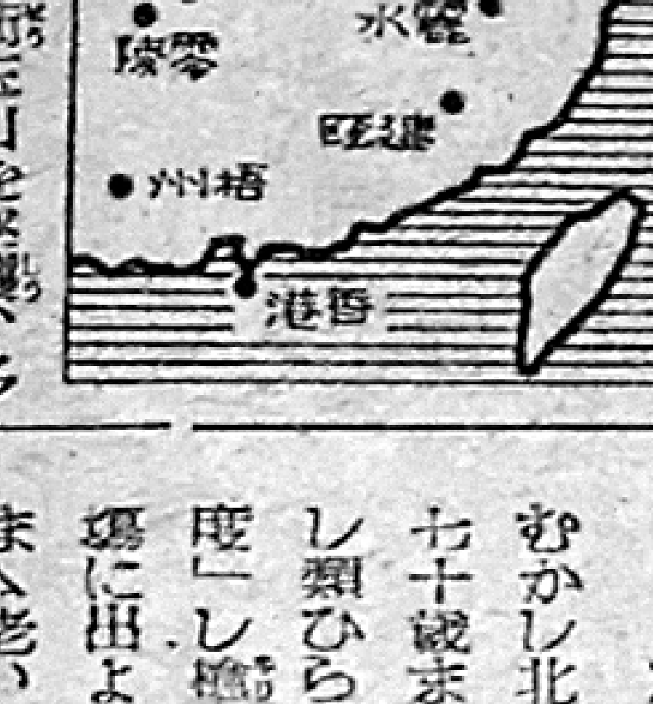
【中部緬印國境〇〇基地長谷川報道班員三日發】わが部隊はインパール前衛據點を次々と蹂潰しに蹂減しつゝ一路南下の總攻撃態勢を完結するに至り、また、廿八日早朝サンジヤツクを進發した他の部隊はマニプール街道を突破し急遽南へ轉進、インパール目指して怒濤の進撃態勢を完結した、かくてインパールを繞る總攻撃は刻々と迫り中部インド國境戰局は今や最紅潮に達するに至つた

イ市へ五里 敵側も認む

【リスボン三日發同盟】ニューデリー來電＝東南アジア軍司令部は三日日本軍はインパールを距る五里の地點まで迫つたと發表

陸鷲玉山空襲

【廣東四日發同盟】重慶放送によれば日本航空部隊は去る一日午後江西省東部の要衝玉山を空襲、多數の爆彈を投下したといはれる



陸海空は
鋼から！
今だ一人でも多く
豐田製鋼

時局語

レド油田

わが荒鷲が爆撃したアッサム州のレド油田地帯は印度における唯一の油田で大東亞戰爭前は年に三十万トン產出してゐたが、その產油高はオクタン價で航空機の燃料に適するので英のビルマ石油會社の子會社のアッサム石油會社の手で精油所を經營して、その產油はテンスキアを始めビルマ反攻を企てた敵東部印度の航空基地の需要を満たすと共にデグボイから〇〇に達する送油管の敷設も計畫して、すでにシンブチヤンまで〇〇キロには完成してゐた、敵側ではこの油田地帯を警備のため米英兩戰鬪機をおいて日夜防衛につとめてゐたものである

定例閣議

四日の定例閣議は午前九時より開催、風邪氣味の内田農商相を除いて首相以下各大臣出席、重光外相より國際情勢につき報告があり、最近の諸問題を中心に懇談して十一時四十分散會した、閣議で決つた主な問題は厚生省年金課を增員すること、非常に備へ特別警備隊を組織することなどであつた

筆陣

浜松の某工場に、六十五歳から七十二歳までの老人で編成した勤勞奉仕隊がある。八人の隊員はそれぞれ教員、巡査、鐵道員などを勤めあげて來た人々だけに、戰鬪帽姿凛々しく、缺勤も少く若い工員の模範となつてゐるといふ。

× ×

隊名を「浜主勤勞奉仕隊」といふのは、[illegible]二十五歳の長命を保ち「翁とてわびやはをらん草も木も榮ゆる御代にいでてまひこん」と烈々たる老人蹶起の意氣を歌つた愛國人尾張國浜主の精神を体して、といふ意味であらうが、人生の務めを大半果して來た老人にこの氣概あり、若い者はいよ〳〵奮ひ起たなければならない。

× ×

むかし北條早雲は、十五歳以上七十歳までの男子は悉く「聊さし類ひらく武士めくやうに支度」し槍のさびなどみがいて戰場に出よと令したが、今もそのまゝ老いも若きも、男も女も、前線に生產に蹶起すべき秋である